

総務文教厚生委員会

■今定例会の審議結果

今定例会では勝山市職員の給与に関する条例の一部改正など議案8件と陳情2件について担当課より詳細な説明と意見を求め慎重に審査しました。

審査の結果、議案8件は可決、「子ども医療費助成制度の窓口無料化」についての陳情「ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充に関する陳情」を趣旨採択としました。また委員会から提出された「子ども医療費窓口無料化に関する意見書」を議会として可決し関係省庁等に提出しました。

市内現地視察について

総務文教厚生委員会では、12月11日午前10時からの開会を予定より30分繰り上げて委員会を招集し、北郷小学校の耐震補強・改修工事の現地視察を行いました。冷たい小雨の降る天気の中、仮設校舎内に入り、児童の授業の妨げにならないように気を配りながらの視察でしたが、建物の耐震補強の方法や改修工事の状況を視察しました。第一期工事は平成27年3月26日まで行われる予定です。

電気自動車用急速充電器の運用について

勝山市でも電気自動車用急速充電器が、ゆめおれ勝山と市立図書館の間の駐車場に設置されることにな

りました。これはNCS（合同会社日本充電サービス）トヨタ、日産、ホンダ、三菱等の自動車メーカーが提供する会員制充電サービスの会員が利用できます。また非会員であっても、クレジットカードがあれば使えるようになっていきます。ただし正規会員より若干高い料金設定とのことです。

利用時間は、ゆめおれと図書館の開館時間を考慮し、午前9時から午後7時（充電時間は約45分から1時間位）です。委員からは、利用時間の24時間制の提案等がありました。

勝山城博物館連携事業について

勝山市と勝山城博物館は、連携協定締結後、勝山城博物館4階企画展示室を会場として、平成26年8月30日から12月7日までの100日間、テーマを「幕末・維新かつやまの人づくり」、サブテーマを「教育と産業の歩み」として掲げ、教育の変遷を通して勝山藩の藩校成器堂から輩出された勝山の偉人たちの紹介やタバコ産業から製糸業、繊維業と進んできた産業の変遷を紹介してきました。

開催期間中の来館者数は、前年同期より717人増の4713人となりました。天候不順の影響を受け、入館者数が少な目となりましたが、結果的には全体で増員となりました。これは小中学校などの団体での見学が大きく貢献していると考えられており、次回の共催展については、開催期間に夏休みを含める、模型な

どの利用により視覚に訴える、解説表示は、文字を大きくし、わかりやすくするといったような見やすい展示内容になるよう心掛けたいとのことでした。

総務文教厚生委員会視察報告

当委員会では10月8日から10日までの3日間、鳥取県、島根県方面に行政視察を行いました。

鳥取県倉吉市では、今年度新築された防災センターを訪れ、「防災センター」の防災拠点としての活用や備蓄資器材について、「防災行政無線の戸別受信機の貸与について」と「集落支援員活用事業について」、また島根県大田市では、「世界遺産を活用したまちづくり活動について」と「国指定重要文化財熊谷家住宅の保存と活用について」、さらに「協働のまちづくりについて」というこ

とで、それぞれ視察を行い、また、世界遺産に登録された石見銀山町並み地区の現地視察も行っております。



倉吉市防災センター



大田市役所（議場）

両市ともに、少子高齢化、人口減少に対する課題については、当市同様深刻にとらえており、国の制度を活用した倉吉市の「集落支援員活用事業」や、大田市独自の施策で、ブロッコごと「まちづくりセンター」を設置し、まちづくり支援担当を配置しての活動支援などは、それぞれの地域でその地域にあったやり方でまちづくりを推進していると感じました。この施策をそのまま勝山市で実施するには、研究・検討が必要だと思いますが、地域の活性化を推進する上で十分参考になる内容であると感じました。